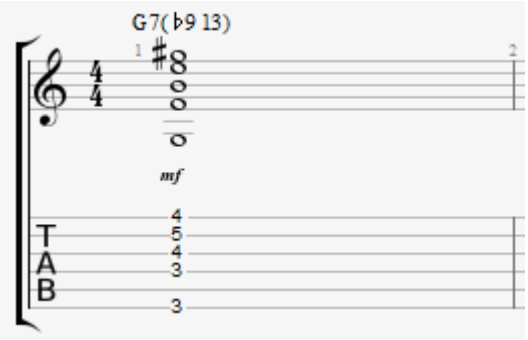
Vol.78　特殊 or 複雑なヴォイシングを弾いてみる　～その 2～

『10 分トレ』vol.78、始めていきましょう

引き続き、コード・ヴォイシングを考えていきます。今回は、少し押さえるのが難しいものを弾いてみましょうか。

まずは、テンション・コードに興味を持ち始めたら、どこかで見るであろうこちらから。

譜例 1、G7(♭9、13)



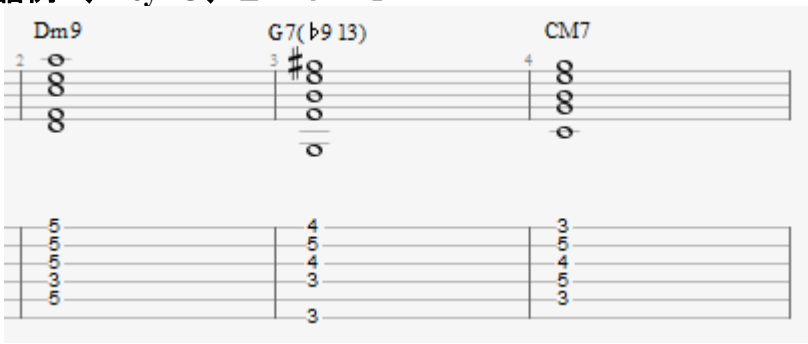
基本的な押さえ方としては、低音弦側から親指、人差し指、中指、小指、薬指ですね。

ストローク的な弾き方をしないのであれば、3 フレットを人差し指でセーハしても良いでしょう。

構造的には、G7 コードの上に E コードが乗っかっている様な感じです。

例えばこんな使い方が出来ますね。

譜例 2、key=C、Ⅱ－Ⅴ－Ⅰ



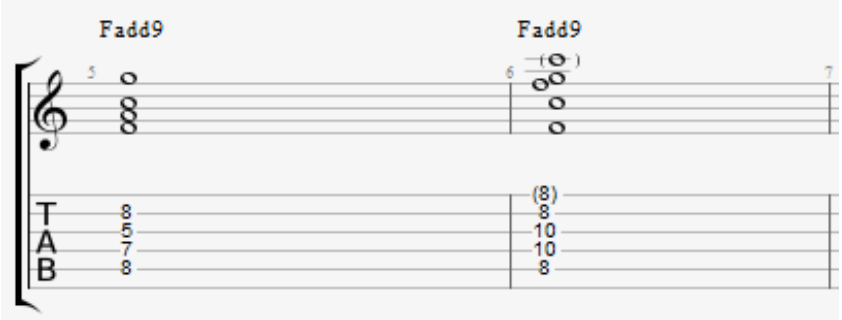
これはトップノートを半音でスムーズに進行させたパターンです。

G7 に乗っているテンションがえぐいので、ポップスなどでは使いにくいですが、ジャズ系の雰囲気なら合いますね。

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved

次は、比較的シンプルですが、おそらくあまり使った事のないであろう add9 のヴォイシングです。

譜例 3、Xadd9、ヴォイシング例

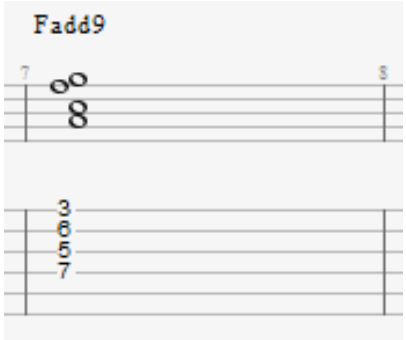


右の一般的な Xadd9(もしくは Xsus2)のヴォイシングと比べると、M3rd が含まれている所がポイントです。

たった一音の違いですが、響きに差があるのでその場の状況に合わせて使分けていきましょう。

後、余談ですが、add9 は他にもこんな感じで音が取れたりもしますね。

譜例 4、Xadd9、ルート音が一番下に来ないヴォイシング



もはや、ぱっと見なんだかよくわからないコードになっていますが、構成音的には先ほどの Fadd9 と同じものとして通用します。(※左手がストレッチ気味になるので弾くときは注意しましょう)

こう言った、面白いヴォイシングを研究して自分のネタにしておくと、他の人とは一味違ったプレイが出来るかもしれませんね。

では、今回は以上になります。

ありがとうございました。

大沼

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved